

令和6年度第2回子ども・子育て会議

文化会館講習室

10月25日(金)18時30分～

出席者:8名 委任状提出者:2名 欠席者:1名

所属	氏名
和木こども園PTA会長	坂田 敬太
和木小学校PTA会長	植木 義彦
和木小学校PTA副会長	石川 寛子
母子保健推進協議会会長	米本 道江
主任児童委員	原川 幸江(委任状提出)
和木小学校長	河口 龍裕
山口県幼児教育アドバイザー	佐伯 公夫
和木こども園長	岸本 京子
和木こども園副園長	松井 千登世(委任状提出)
和木こども園副園長	福村 和子

事務局:松井事務局長、米村事務局長補佐、竹田係長、吉兼係長

関係課:正木課長補佐(保健福祉課)、上岡係長(保健福祉課)

遠田保健師(保健相談センター)、應和保健師(保健相談センター)

関係資料は別添

開会	
松井事務局長	あいさつ。
事務局(米村)	和木町子ども・子育て会議設置要綱第6条第2項の規定により委員総数11人に対し、8人出席、委任状2名提出、欠席者1名、委員の半数以上の会議成立を報告。
議題1 第2期計画の評価・課題についての説明	
佐伯会長	では、早速ですが、議題1の説明を事務局お願いします。
事務局(米村)	それでは説明をさせていただきます。 資料2について説明 1ページ、1号認定者については、更に減少しています。和木こども園の充足率と、広域分の決算額を本年度より掲載しております。 2ページ、2号認定者は、令和5年度から6年度にかけて大きく減少しています。なお、令和6年4月からの改正で3歳児と4歳児以上のクラスの配置基準の改正がありましたが、和木こども園は、基準どおりの配置基準となっております。 3ページ、3号認定者は、年度途中には、定員が一杯になり、和木こど

	も園に入れない方や、広域利用になる方もおられるのが現状です。参考値として、学校児童・生徒数の推移については、令和6年度の小学生数がついに、400人を下回りました。 4ページ、利用者支援事業ですが、5年度までは、母子保健型、令和6年度からは、こども家庭センター型に運営形態が変わりました。産後ケア事業、令和5年度より新規事業として開始しております。令和5年度の実績値として、1件があがっております。 5ページ、乳幼児全戸訪問事業については、5年度の数値が下がっています。出生数の減少も影響していると考えております。 子育て短期支援事業については、令和5年度は実績ゼロでした。 6ページ、一時預かり事業は、74に減少しておりますが、1号こどもの減少が影響しております。 一時預かり事業(在園児対応以外)については、令和5年度は町外の施設を広域利用する子どもの数が大きく伸びています。7ページ、病児・病後児保育事業ですが、数値が誤っておりましたので、49件にしてください。過去最高の数字になっております。医療関係者の方で通園預け入れしやすい方の影響で数字が増えております。費用額についても過去最高額になっております。引き続き対応できるように予算措置をしていきます。8ページ、放課後児童クラブですが、国の調査の基準日の5月1日に数値を合わせていますので、実績値を変更しています。令和5年度から登録者数が大きく減少、夏の利用者は119人、令和6年度は78人、夏は89人と大きく減少しています。きょうだいと自宅で一緒にすごしたり、高学年で学童保育を利用せずとも、自宅で過ごすことができる児童が多いのが原因と推測されます。 9ページ、1歳6か月児童健康診査受診状況ですが、令和4年度から大きく数字が改善しております。受診勧奨方法の見直しを行いました。 10ページ、母子手帳アプリ登録者数、令和6年度中に新しい機能が追加されるようです。 育児相談の実施状況ですが、開催回数が増加しておりますが、延べの参加者数が減少しております。 13ページ、わきあいキッズは参加人数及び教室の数が増えています。これはコロナの5類以降に伴って通常運営に戻ったことによります。 15ページ、教育相談を行っている中学校の体育館の2階にあるスマイルルームです。年々増えており、問題を抱えている児童が増加傾向にあります。
--	--

	5年度の課題と評価については以上です。 続きまして、子ども子育て支援事業計画の素案をお開きください。評価につながるページを説明します。 12ページから26ページですが、先程説明いたしました資料に基づく数値ですのでお読み取りください。なお、若干計算がおかしい箇所がございますので、正しい資料としては、資料2を参考にしてください。 27ページ、次世代育成支援計画の評価ですが、通常保育事業については、和木こども園に入園できない方も居られますので、課題ありとしております。延長保育事業、放課後児童クラブ、子育て支援センターについては順調、ファミリーサポートセンターは実績なしのため、ご覧のような表記です。一時預かりについても、ニーズに添えた受入れができていませんので、課題ありとしております。 38ページです、前計画の評価として、ヒアリング内容と、各目標ごとの評価と課題を明記しております。基本目標1としては、地域における子育て家庭に対する支援の評価についてですが、概ね達成していると評価しております。 課題ですが、各団体の後継者不足ということが大きい課題となっております。 基本目標2の子どもが健やかに生まれこころ豊に育つ環境づくりです。 こちらも目標達成としました。各種の個別給付、新規に事業を行っていることからです。 課題は、出産時にケアとか子どもを望む夫婦への身体的精神的経済的な負担等かと思います。これは一層の改善が必要だと考えています。 基本目標3こどもの成長を支える教育環境の整備、この目標も達成しているとしました。 課題としては、こども関連事業ですから、こどもの意見を聞きながら事業を実施していく形態にシフトしていく必要があります。園小中については合同研修を毎月実施し、講師の連携に努めていきます。また「和木町の子どもはみんなで育てる」という雰囲気醸成を引き続き行っていかなければなりません。 基本目標4子育てと仕事の両立支援、この評価については、一部達成できていないと思いますので、達成という言葉は入れておりません。課題としては、3歳未満の子どもさんのニーズに一部応えられていない点で、今後拡充をしていく必要があると思います。 基本目標5子どもが安心・安全に過ごせる生活環境の整備、今回、通
--	--

	学路危険箇所についての改善をまとめております。残りの箇所数も大きく減少しておりますので、概ね達成としております。ですが、国道・県道は予算を伴うので早急な対応が難しいは、スクールガードなどの見守りボランティアの取り組みが必要になると思います。 基本目標6相談支援の充実、子ども家庭センターの創設等により各機関とも連携を強化し、情報共有を図っており、目標は達成していると思います。 課題としては、今後の支援のありかたとして、プッシュ型・アウトリーチ型の支援にどうつなげていくかが課題となっていると考えております。 評価と課題については、以上で説明を終わります。
佐伯会長	ありがとうございました。第2期計画の課題と評価について、委員の皆様何かございますでしょうか。保健福祉課、保健相談センターの方向がありますか？
保健福祉課 (正木)	短期入所サービスですが、令和5年度は実績ゼロとなっておりますが、令和6年度の見込みはゼロではなく、利用者がおり、おおむね順調にしておりますので、補足いたします。
保健相談センター	特にありません。
佐伯会長	委員のみなさまはいかがでしょう。 樹木委員どうぞ。
樹木委員	この計画を作成するにあたって、参考にしている自治体、もしくは和木町を参考にしたいとかいう団体はいますか。
事務局(米村)	こども園の園児からの意見聴取等については、先行的なものと考えております。基本的には小学生以上の子ども達からの意見をということとなっております。この辺り、以前和木町さんの事例を他の自治体にこういった取組を行っているということをPRさせていただいてもよろしいかというお話をいただきましたので、地域科学研究所さん、よろしいでしょうか？
地域科学 岡田	弊社のほうで参考にしている自治体は多くありますので、特段ココという自治体はありません。 また、和木町様の事業に関しましては、特に子どもの意見聴取の件については、四国地方の取引先団体から参考に話を聞かせてほしいという声をいただいています。以上です。
議題2第3期和木町子ども・子育て支援事業計画素案の説明について	
佐伯会長	それでは、事務局、議題2についての説明をお願いします。
事務局(米村)	資料1を使いますので、ご準備ください。

	・目次を説明(計画の構成を説明) はじめに、前回会議の骨子案でお示しました、基本目標は、7つありましたが、6番目の相談支援体制の充実、基本目標2に統合させていただき、政策の展開(5)、(6)として追加しておりますので、ご理解をいただけたらと思います。それでは、計画の位置づけということで、今期の計画については、こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律第10条第3項に基づく「市町村計画」と一体的に子ども・子育て支援計画を策定します。 ・住民参加と情報公開について パブリックコメントを1月に実施します。今回から実施します。 ・第1章子ども・子育てを取り巻く現況 少子化という傾向について説明しております。特に、6ページ人口の推計値になります。令和7年と令和11年を比較してもらうと、年少人口については、マイナス125となっております。イメージは、今の小学校2学年分の児童・生徒が減少してしまうという推計になっております。 第1節、第2節については、資料ですので、お読み取りください。 第3節の一部に数字が不確かな部分がありますのでこちらで修正します。 38 ページまでは次世代育成支援計画の評価、調査結果・方法を掲載しています。 ・事業量の見込みについて 45ページを開いてください。これは、ニーズ調査から、推計値を算出しております。算出方法については、54ページを開いてください。コーホート変化率法により、人口推計値を算出しております。特に、11年度の1年生は、29人しかいない予測値となっておりますので、学年で1クラスになってしまいます。 続いて、55ページを開いてください。家族類型を算出しております。この類型別の利用意向率と人口推計値、過去の実績を勘案しながら、見込値を算出します。 (各事業について算出。数値については、一例をあげて説明)また、見込値については、計画案までに修正等を行う可能性がございます。 一時預かり事業と病児・病後児保育事業等、ニーズと実績値があまりにも乖離している項目については、実績値もふまえて、調整を加える可能性があります。
--	--

	53ページ、新規事業:こども誰でも通園制度、児童育成支援拠点事業、子育て世帯訪問支援事業、親子関係形成支援事業。 57ページ、基本目標に対する施策事業の掲載(既存事業)。新しい事業追加の可能性あり。 69ページ、こども真ん中の取り組み。 81ページ、こども貧困対策の推進はこれから作成予定。 最後に、計画の推進体制等について掲載(役割、PDCA、資料編)
佐伯会長	この素案について意見はございますか。 まず、一番大事な部分になってくるのは素案の中の基本理念に当たるかとおもいますが、基本理念とキャッチフレーズについて事務局説明をいただいてもよろしいですか？
事務局(米村)	基本理念についてですが、 A 案 子どもから大人までみんなが主役のまち・わき B 案 わきはみんなが主役のまち C 案 みんなの居場所・わきまち を案として作成しましたが、事務局といたしましては「わきはあったか大家族」を超えるものを作成することができませんでした。よって第2期計画の基本理念を踏襲したいと考えております。ご審議の程お願いいたします。
佐伯会長	事務局からは、基本理念は、第2期計画の「わきはあったか 大家族」を踏襲したいということでしたが、よろしいでしょうか。
委員	拍手多数により承認。
事務局(米村)	ありがとうございます。 また、これに基づくキャッチフレーズを取り決めるにあたり、中学生へのアンケートと、和木こども園の年長児へのヒアリングを実施しました。その結果がまとまっておりますので、地域科学研究所の岡田さん説明していただいてもよろしいでしょうか。
地域科学(岡田)	地域科学研究所説明 (調査方法、対象者、結果の詳細等について説明)
事務局(米村)	アンケートの結果から抽出した言葉を用いてキャッチフレーズの案を作成しました。前回会議で、未来というワードを委員からお聞きして入れ込みたいと思っておりましたので、候補6つ中5つの候補の中に「未来」という言葉を入れております。 それでは、キャッチフレーズについてです。中学生の意見聴取から、案を6つ作成しました。 ① あいさつが 飛び交う和木町 ひとと未来を育むふるさと

	② 笑顔とあいさつ 未来へ飛び立て元気なわきっ子！ ③ あいさつがはぐくむ希望、笑顔がつなぐ こどもの未来 ④ 元気に遊ぶ！豊かに学ぶ！かがやく未来のわきっ子たち ⑤ 「いってらっしゃい」と「おかえり」がいきかう和木町 ⑥ 小さな町大きな家族、みんなでつくるこどもたちの未来予想図 この6つの中から委員の皆様のご意見を伺ってみたいと考えています。
佐伯会長	事務局からは6つの案からということですが、順に確認していこうと思いますので、これが良いという方は、挙手をお願いします。 ① あいさつが 飛び交う和木町 ひとと未来を育むふるさと これが良いと思われる方は、挙手をお願いします。 0 人挙手 ② 笑顔とあいさつ 未来へ飛び立て元気なわきっ子！ これが良いと思われる方は、挙手をお願いします。 0 人挙手 ③ あいさつがはぐくむ希望、笑顔がつなぐ こどもの未来 これが良いと思われる方は、挙手をお願いします。 6 人挙手 ④ 元気に遊ぶ！豊かに学ぶ！かがやく未来のわきっ子たち これが良いと思われる方は、挙手をお願いします。 1 人挙手 ⑤ 「いってらっしゃい」と「おかえり」がいきかう和木町 これが良いと思われる方は、挙手をお願いします。 0 人挙手 ⑥ 小さな町大きな家族、みんなでつくるこどもたちの未来予想図 お願いします。 1 人挙手 ③が一番多く挙手がありましたので、キャッチフレーズは「あいさつがはぐくむ希望、笑顔がつなぐ こどもの未来」に決定しました。 質問等ございますでしょうか。
河口校長	先程、アンケート調査について説明がありましたが、小学生にはアンケートをやらなかったんですか？
佐伯会長	事務局お願いします。
事務局(米村)	それでは、お答えいたします。小学生を対象にアンケートをしなかった理由としては、昨年12月に実施しましたアンケートに、子どもさん自身が回答する項目を設けており、別の質問を行ったため、今回はアンケートを実施しませんでした。 補足をいたしますと、こども園のヒアリングについては岸本園長に多大なご協力をいただいたところですが、当初個別に聞いたときは緊張から中々意見が出てきませんでした。それがクラスの中で聞き取る方法に変えるとたくさん元気こたえてくれまして。この方法だと年少児さんでもできるよとのことだったので、今後にいかせればと思っております。

佐伯会長	アンケートについての質問でしたが、素案については何かありますか。 それでは、素案(議題2)について、承認を求めたいと思います。議案2の計画素案について承認される方は拍手をお願いいたします。 拍手多数。よって、計画素案(議案2)は承認されました。 皆様方のご協力で、全ての議題が終了いたしました。ありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。
事務局(米村)	佐伯会長、委員の皆様ありがとうございました。これからのスケジュールですが、今回の素案を事務局で再度精査させていただいて、計画の案についてのパブリックコメントを1月上旬から中旬にかけて実施します。それから、反映できることは反映し、第3回子ども・子育て会議を計画案として審議をしていただくことになります。また、次回の会議は1月下旬から2月上旬になるかと思います。日程については、調整させていただきますので、その際は、ご協力よろしくをお願いいたします。 それでは、皆様、本日はありがとうございました。気を付けてお帰りください。